



地域で進む防災訓練 地震を想定した活動も



避難訓練の様子



命の宝箱



応急手当講習



講習会の様子

9月25日、忠海第1地区協働のまちづくりネットワークが、地震を想定した避難訓練を行いました。まずは、自治会ごとに一時避難所へ集合し、その後指定避難所や地域で定めた自主避難所へと移動。負傷者を想定したリヤカー搬送なども行われました。

その他にも、応急手当講習や「命の宝箱」の紹介も行われました。「命の宝箱」は、ペットボトルなどの容器に持病やかかりつけ医・緊急連絡先などを記入したメモまたはカードを入れて、冷蔵庫などに保管しておくことで、いざというとき、スムーズに救急医療を受けられる仕組みです。

より実践的な訓練を行ったことで、参加者からは「毎年度実施してほしい。」「準備をしっかりとしようと思うた。」といった声が上がりました。

また、10月23日には、荘野協働のまちづくりネットワークが、減災塾の塾長である籠田純士さんを講師に招き、「集中豪雨・土砂災害から身を守るために」をテーマに講習会を開催しました。

荘野地区での実地検証をふまえた籠田さんのお話に、約100人の参加者は、真剣に耳を傾けました。

安全部会会長の種村文明さんは、「最近の自然災害は想定外のものが多いので、そういった災害でも対応できる準備が必要。今後は、防災マップや自主防災組織など、具体的な取組みを進めたい。」と話します。

市内各地区で進む防災訓練。地域の安全・安心を守るため、住民が知恵と工夫を出し合い、これまで以上に発展した活動を行っています。



10月、市内2校の小学校で、次代を担う子どもたちの文化芸術体験事業が開催されました。忠海東小学校では、10月5日に、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団がオーケストラ公演を開催。地域の人も招かれ、プロの演奏を楽しみました。

オーケストラの伴奏で児童の歌が披露された他、児童の指揮でオーケストラが演奏する場面もありました。

地域の人からは、「こんなに身近な場所で生のオーケストラを見ることができて、良い体験だった。児童の歌もとても良かった。」という感想が聞かれました。

子どもの豊かな感性を育む ～忠海東小学校・忠海西小学校～

最後に児童から、「迫力に圧倒され、感動しました。音楽のすばらしさを感じました。」と、団員のみなさんへお礼の言葉も送られました。

忠海西小学校では、10月21日に、洋画家の奥谷博さんと奥谷太一さんの指導のもと、児童が友達の絵を描きました。絵を鑑賞する時間では、奥谷博さんから、「特徴をよく捉えている。大胆に描かれていて良いですね。一生懸命よく頑張りました。」といった講評がありました。

芸術の秋。「本物」の芸術が、子どもたちの感性を育みます。



100 歳おめでとうございます

9 月 29 日、小坂市長が今年度 100 歳になるみなさんを訪問し、敬老祝い金を贈呈しました。適度な運動、健康的な食生活が長寿につながっているようです。長年にわたり、社会に貢献してきたみなさん、これからもお元気で長生きしてください。



福田の獅子舞い 観客を魅了

10 月 2 日、福田町の稲生神社で、獅子舞いが奉納されました。2 頭の獅子が、太鼓と囃子の音に合わせて優雅に舞いました。ぼたんの花にたわむれる姿を表現した獅子と、太鼓をたたく子どもたちの息ぴったりな舞いに、多くの観客が魅了されました。



特産品と竹楽器で 竹原をPR

10 月 16 日、広島空港で、空港や空港周辺市町の魅力を PR するひろしま空の日 2011 ふれあい秋まつりが開催されました。竹原市からは、みなとオアシスただのうみ協議会などが出店し、ステージではたけはら竹夢楽団が竹楽器を演奏。竹原の魅力を発信しました。



復興支援のため 多賀城市に職員派遣

10 月 21 日、市役所で、宮城県多賀城市への市職員の派遣出発式が行われました。多賀城市への派遣は、給水支援や支援物資の提供など、東日本大震災の災害復旧を通じた縁により決定しました。派遣期間は、10 月 24 日～11 月 6 日です。



収穫の秋 子どもたちも体験

10 月 8 日、小梨町で、サンファームおなしによる稲刈り体験が行われ、「子どもに自然体験をさせたい」と、家族での参加が多く見られました。初めは慣れない手つきの子どもたちでしたが、しだいに上手くなり、あっという間に田んぼの稲が刈られました。

また、10 月 10 日には、下野町で、食を考える会による稲刈り体験も行われ、各地で収穫の秋を楽しむ様子が見られました。



RCC アナウンサー 生徒にエール

10 月 12 日、竹原中学校で、RCC のアナウンサーとして活躍する寺内優さんと横山雄二さん、そしてラジオ制作部長の柏原清純さんによる課外授業が行われました。この授業は、RCC の開局 60 周年を記念した地域貢献事業として、行われたものです。

横山さんは、授業の中で、「勉強は将来やりたいことをやるために必要。地域の人に育てられていることを忘れずに、今の時間を大切にしてほしい。」と生徒にエールを送りました。